

各位

本日の授業内容は、以下の通りです。良く読んで、課題を取り組んでください。

(1) 本日の授業で用いる教科書の範囲

1. 「第3章 スポーツパーソンシップ」(pp.34-46)

(2) 本日の授業の流れ

1. 「第3章 スポーツパーソンシップ」(pp.34-46)を通読してください。本日、皆さんに学んでもらう「スポーツパーソンシップ」もまた、前回の授業で学んだ「フェアプレイの精神」と同様に、これまで皆さんがスポーツを実践する中で、当然もつべき正しいもので、スポーツ実践においてあたりまえの価値・意識であるという認識を持たれていることと推察します。本日は、前回の授業にならない、「スポーツパーソンシップ」の内実を多面的に学んでもらい、競技者として、あるいは、スポーツ指導者として、さらには、これからの人生を生きる上で、役立ててほしいと考えています。
2. わからなかったすべての用語や表現について、辞書・事典、著書、あるいはインターネット等を使い、意味を調べ、それぞれ、ノートにまとめてください。その際、必ず出典を記述してください。また、インターネットから引用した場合は、URLを示してください。
3. その上で、下記の3つのテーマについて論理的に作文し、ノートに記述してください。
 - ①スポーツパーソンシップとは？(「スポーツマンシップ」との差異、「スポーツマンシップ」の由来を含めて)
 - ②イギリス人とスポーツパーソンシップの関係について
 - ③スポーツパーソンシップとフェアプレイの精神の関係について

(3) 提出用ノートの使い方・作成方法の説明

1. ノートの表紙には授業実施年度、授業名、学籍番号、氏名を油性のペンで記してください。
例) 令和2年度、スポーツ哲学(水・1)、GH20〇〇、福岡良子
2. 原則、すべての授業で課題に取り組んでもらいますので、授業毎にページを改め、その冒頭には、授業名、何回目授業の課題か、学籍番号、氏名を、必ず記入してください。
例) スポーツ哲学(水・1)第〇回目授業の課題、GH20〇〇、福岡良子

3. ノートは見開きで使用し，目安として，ひとつの授業の課題をノートの2ページ程度の文量にまとめてください。スペースが足りない場合は，次のページを利用しても構いません。ただし，次の授業の課題は，ページを改めてください。

以上